

事業所名		児童発達支援のびるねっこ				支援プログラム（参考様式）		作成日	2025 年	2 月	18 日
法人（事業所）理念		すべての子どもたちが人の温かさに包まれて健やかに育つために									
支援方針		一人ひとりの子どもの個性に寄り添った支援を通して、生きていくために必要になる力の基礎を伸ばしていく。									
営業時間			8 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし		
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	- 健康状態の維持・改善のため、利用時に保護者からアセスメントを実施します。 - スケジュールを分かりやすく視覚効果などを活用しながら理解を促します。 - 基本的な生活スキル（挨拶・衣服の着脱・排泄）獲得できるようにサポートをします。									
	運動・感覚	- 微細運動や粗大運動を通して、体の使い方が向上するよう支援をします。 - 子どもの感覚や特性を踏まえながら、自然に触れる機会を多く持ち五感に訴える活動やお子様の感覚刺激を満たす活動を行います。 - 日常的に生かせる道具や物（ハサミ・のり・食具）に触れ、手先の運動と共に、使い方やルールを学んでいきます。									
	認知・行動	- 子どもの発達段階を見極め、興味の幅を広げ、困難さがある部分を大人の助けを得て『できた』という経験を積んでいけるようサポートをします。 - 空間・時間、数等の概念形成の習得のため、距離、広さ、大きさ、高さ、量、数等を含んだ遊びを実施。時計やタイマーを用いて数や時間の概念が形成できるよう支援をします。									
	言語 コミュニケーション	- 子どもの発達に合わせて、言葉の理解や表出が豊かになるよう、専門の職員が支援をします。 - 言語の受容及び表出のため、他者と関わりを持つ遊びをおこない、相互的なコミュニケーションを取りながら、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど機会を含む遊びを実施。 - コミュニケーションの基礎的能力の向上のため、言語での表出が難しい利用時に対しては、指差し、身振り、サイン等の活用をおこないながらコミュニケーションを図り、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援を実施。 - コミュニケーション手段の選択と活用のため、文字・記号、絵カードなどの手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援を実施します。									
	人間関係 社会性	- 職員とのコミュニケーションを通して、自身の苦手なことや初めての事にも挑戦する気持ちを育み、『成功体験』から自己肯定感の向上や自信に繋がるよう支援をします。 - 遊びや教材を使って楽しく過ごす中から、順番やルール、約束を守ることや物を大切に使うことなどの社会性を育めるよう支援をします。 - 職員と良好な関係性を築く経験から、他児や集団の中で関係性を構築できるよう支援をします。									
家族支援		- 家族からの相談に対する適切な助言やアタッチメント形成（愛着行動）等への支援をします。 - 家族からの相談や悩みに対しての助言をします。					移行支援		子ども園や幼稚園、学校との情報共有・連携をし、一貫した支援をしていきます。		
地域支援・地域連携		- 二子山子ども園との連携。 - 地域資源の活用やイベントに参加。					職員の質の向上		施設内研修、外部講師による研修の実施。		
主な行事等		季節に応じたイベントの開催。									